

第32回 鋭意努力する新郎

今年5月に結婚式を控えている中国人で上海出身の女性社員に中国の結婚式の習慣について聞きました。中国、特に上海の男性には家と車を購入することが結婚条件として求められます。結婚が決まれば新郎側は新婦の親にお礼金(日本では結納金)を渡します。金額は各家庭の経済状況によって変わります。

もし新郎側の両親が家を二つ所有していれば二つを新郎新婦にあげます。そうでなければ、新郎側が全額負担し家を購入するか、または購入資金として住宅価格の30%金額を両親が支払い、残りの70%は新郎新婦がローンを組み支払います。新郎側は内装費のほか家具や車も購入します。結婚式の費用は新郎側がほぼ全額負担します。上海では両親が子供の結婚式のために負担する費用額は日本よりはるかに多く、中流家庭が多い当社の社員の両親は、50万円(850万円相当)を用意しているそうです。

結婚式当日は、午前中に新郎が新婦を迎いに実家に行きます。その際、新郎の友人「伴郎」が4~5人一緒に同伴します。新婦側にも同じ人数の新婦の友人がいて、それを「伴娘」と呼びます。伴郎・伴娘は独身に限り、結婚式当日は新郎

上海の新築マンション

に限り、結婚式当日は新郎

「車と家」が結婚条件

新婦をエスコートします。新婦の家のドアを開けてもらうために伴郎達はお金を入れた赤い封筒を沢山用意し、新婦の家に着いたらドアの隙間から一枚ずつ赤い封筒を入れます。一方伴娘は家の中でその封筒を取り合います。取った分は全部その伴娘のものになるからです。

「伴娘」が封筒の中に入ったお金の金額を見て満足すればドアを開けます。新婦の部屋に入ると、新郎はまず新婦に靴を履かせてあげます。そしてお茶文化のあるものですね。

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

~介護・不動産事業の行方~

著者プロフィール  
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リノベーションシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

介護・福祉